

豪華な副葬品から  
何がわかるのか？

語り部



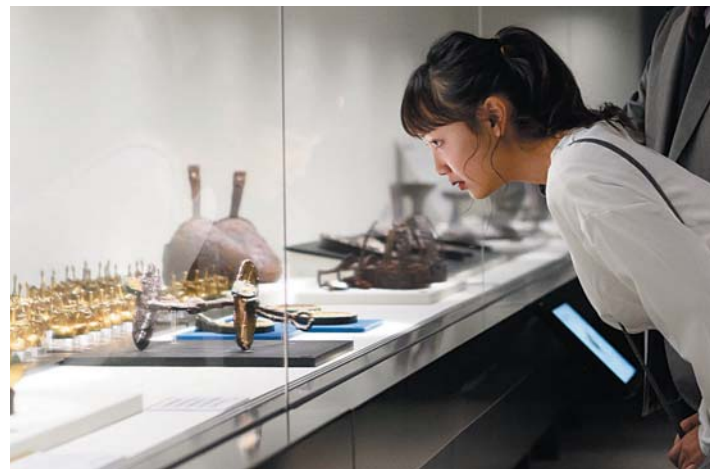
群馬県立歴史博物館 徳江秀夫さん

群馬県埋蔵文化財調査事業団で長年古墳時代を研究。その後、群馬県立歴史博物館へ。現在は同館専門調査官。

きらびやかな副葬品は  
権威と財力の証

副葬品とは遺体とともに埋葬された銅鏡や装身具、刀、甲冑、土器などの品々のこと。「種類や組み合わせで古墳の造られた時期、埋葬された人の社会的地位や財力などがわかります」と解説してくれたのは群馬県立歴史博物館の徳江秀夫さん。「光輝く装飾付大刀や金銅製の馬具など地位や財力を視覚的にわからせるものが多くです。三角縁神獸鏡は県内の前期古墳から12面出土と東日本で最も多く、また、石製模造品も中期の有力な古墳には必ずと言っていいほど副葬されています。装飾付大刀は、群馬県では140以上発見されていて、種類もさまざまです」。金銅装や鉄製の馬具も多く、財産となる馬を所有しているだけではない。

群馬県立歴史博物館では、観音山古墳（高崎市）から出土した貴重な副葬品や埴輪を常時展示している。



謎解きキーワード

- ① きらびやかな金工品
- ② 権威と財力
- ③ 大陸・朝鮮半島

単鳳環頭大刀柄頭  
(玉村町歴史資料館)

鳳凰が描かれた大刀柄頭。国内で類例を見ないことから朝鮮半島で作られた可能性がある。小泉長塚1号古墳(玉村町)出土。  
●MAP C-2



短甲

(群馬大学教育学部所有、群馬県立歴史博物館寄託)  
重ねた鉄の板を鉄でとめた甲。冑と一緒に発見された。軍勢力の象徴。鶴山古墳(太田市)出土。



金銅製鈴付大帯

(群馬県立歴史博物館保管)  
儀式の際に着用したであろう鈴付きの金銅製帯。観音山古墳(高崎市)出土。国宝。国(文化庁)所有。

銅製水瓶

(群馬県立歴史博物館保管)

仏教の影響が見られる銅製の水差し。中国で類似の水瓶が発見されており、大陸とのつながりを感じられる。国宝。国(文化庁)所有。



Image: TNM Image Archives

金銅製冠(模造)  
(東京国立博物館)

全体の形がわかる貴重な冠。朝鮮半島の影響を強く受けている。山王金冠塚古墳(前橋市)出土。



金銅製心葉形透彫杏葉  
(観音塚考古資料館)

仏像の光背に形の似た馬につける飾り具。観音塚古墳(高崎市)出土。国重要文化財。

三角縁神獸鏡  
(東京国立博物館)

ヤマト王権との強い関係を示す銅鏡。県内では12面が出土しており、東日本では最多。前橋天神山古墳出土。国重要文化財。



Image: TNM Image Archives

く、馬に飾りを付けられるだけの有力者がたくさんいた証という。これらの品々の多くはヤマト王権により製作・配布されたとされるが、中には朝鮮半島の最先端技術や文化の影響が見てとれる副葬品もある。「朝鮮半島との外交に群馬の有力者も加わっており、実際に朝鮮半島からさまざまな品を持って帰ってきたのではないかとはいわれています」。中でも観音山古墳(高崎市)は突起の付いた冑や三環環頭大刀、金銅製の馬具など朝鮮半島の品と思われるものが残っていた。「珍しいものとしては鈴の付いた金銅製大帯、銅製の水瓶があります。古墳から出土した水瓶の完形品は観音山古墳のものだけです」。また、観音塚古墳(高崎市)からは仏具である中国、隋の食器をモデルにした中国、隋のとされる銅鏡とよばれる金属の容器や銀装の大刀、金銅装の馬具など、大陸、朝鮮半島とのかかわり、飛鳥時代の到来が感じられる副葬品が発見されている。

副葬品を見に行こう



〈高崎市〉観音塚考古資料館

隣接する観音塚古墳の横穴式石室から発見された、300点以上の貴重な副葬品を中心に、高崎市内で出土した考古資料等を展示している。

高崎市八幡町800-144  
☎027-343-2256 9時~16時  
休月曜(祝日は開館、翌日休)、祝日の翌日、年末年始 135台  
●MAP B-1



〈高崎市〉群馬県立歴史博物館

群馬県の歴史や文化に関する資料を展示。原始から近代まで、実物資料を中心にレプリカやジオラマなどを用いて紹介している。

高崎市綿貫町992-1 ☎027-346-5522  
9時30分~17時(最終入館16時30分)  
休月曜(祝日は開館、翌日休)、年末年始、展示準備期間等 あり  
●MAP C-2



石製模造品

(群馬県立歴史博物館保管)

滑石でつくられた道具のミニチュア。刀子・鏃・鏃・斧など、質・量ともに豊富。舞台1号墳(前橋市)出土。国重要文化財。国(文化庁)所有。